	・美評価ンート(平成28年		如 巳 & △	一面如
事務事業名	病院統合・再編事業			注画部
【基本情報】			麻 (至) 名 巴	X.水正凹床
基本目標	01安心して暮らせるまな	らをめざして		
政策				
21	02地域医療を充実する	REDIX / J		
	平成22年度 ~ 平成2	8年度		
事業区分	O Little beta Tability (beta and 1)	0   <u>Z</u>		
	市内全域			
関連根拠法令等	地方独立行政法人加古川市	方民病院機構活	性化協議会及	び活性化委員会設置要綱
【事業概要】				
現状と課題	加古川中央市民病院が予定 西市民病院跡地で回復期が 向けて県と調整が進められ 可能性が低く、医療以外で	病院を運営する。 いている。東市	民間事業者と 民病院跡地は	:の契約が成立し、開設には医療機能等の民間参入の
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	●地方独立行政法人加古川川中央市民病院の整備を円きるよう市民等への周知を市民病院跡地の民間活用のる。	円滑に進める。 と図る。●西市	●加古川中央 民病院跡地〜	・市民病院が円滑に開院で ・の回復期病院の誘致や東
対象 ※誰、何に対して	●地方独立行政法人加古川	川市民病院機構	●加古川市	ī民
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	●地方独立行政法人加古川 ●加古川中央市民病院へ 地活用事業者の募集及び東 実施	への交通アクセ	ス案内チラシ	の配布 ●西市民病院跡
【コスト】		【会計】		
	平成28年度(決算見込)	会計	0 1一般会計	-
事業費合計	48,473 千円	款	0 2総務費	
国庫支出金	千円	項	0 1 総務管理	<u></u> 里費
県 支 出 金	千円	目	07企画費	
地方債	千円			大孙汉田丰来
その他特財	千円	細目	0 4 5 病院跡	)地石川争美
一般 財源	48,473 千円			
【コスト推移】				
		平成27年度(決算)		6年度(決算)
事業費合計	48, 473 千円	14, 095	千円	6,732 千円
【総合評価】				7/1 L
総 合 評 価 ※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	□拡充 □維持 □縮小 地方独立行政法人化、加己 跡地の民間活用についての 事業は終えた。今後は通常 運営の独立性に配慮すると 委員会による評価や運営費 た取組を推進していく。	5川中央市民病 う可能性調査な ぎの病院事業と こともに、市民	院の開院、市 ど、病院の紛 して、地方狙 病院機構とも	5民ニーズに対応した病院 で合・再編に関する一連の は立行政法人としての病院 の連携を図りながら、評価

事務事業名	病院統合・再編事業	部 局 名	企画部
事 切 事 未 4		課(室)名	政策企画課

#### 【対象】

対 象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
地方独立川市民病	行政法院機構	去人加 冓	古	団体	1	1	1
加古川市付推計人	人口(口)	(4/	1	人	265, 524	266, 100	267, 148

## 【事業宝績】

【ザタ	尺大侧												
活	動	指	標	名	単	位	平成	28年度	平	成27年度		平成26年月	度
活性	化協議	会開	催回	数		口		0			1		0
活性	化委員	会開	催回	数		口		0			1		0
啓発	資料配	布叵	数			口		2					
		予:	定どれ	おり <sup>3</sup>	平成	285	F7月に	こ加古川。	中央市	民病院	が開	<b>開院し、その</b>	)後

活動指標とおり干成28年7月に加日川下天市民物院が開席し、その後の病院運営も順調に進捗したため、活性化協議会及び活性化委員会は開催しなかった。また、啓発については、新病院への交通アクセ分析結果 スをお知らせする案内チラシを配布した。

#### 【事業成果】

成	果	指	標	名	単	位	平)	成28年度	平	成27年度		平成26	年度	目標年度	目	標	値
新統(各	否病院 年度)	建設	整備	率		%		100		10	00		100	平成28 年度			100
啓発	資料配	1付枚	数			枚		137, 000						平成28 年度		100	, 000

加古川中央市民病院建設整備についてはスケジュールどおり進捗し、平成28年7月に開院成果指標することができた。また、新病院開院前に、病院への交通アクセス(来院駐車場の追加を含分析結果む)について、市民や周辺自治体の住民への全戸配布等を行うなど、幅広く周知を図った。

事務事業名	救急医療事業		部 局 名 福祉部	
1, 43, 1, 1, 1			課(室)名健康課	
【基本情報】				
基本目標	01安心して暮らせる	まちをめざして		
政策	02健康づくりや地域	医療を充実する		
施策	02地域医療を充実す	<del>-</del> る		
事業実施期間	昭和39年度 ~ 永	:年		
事 業 区 分	④義務的施策事業			
地 区 別	その他			
関連根拠法令等				
【事業概要】				
現状と課題		っては、継続して体 けび悩みがあり、停	制支援を行っており、電話 滞状況に陥っている。	相談事業に
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	通常診療等の休診中に の防止及び生命の維持		患者の初期対応を行うこと	で、重症化
対 象 ※誰、何に対して	休日及び夜間帯に容態	が悪くなり、救急	処置の必要がある住民	
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	休日の一次救急を実施 と、輪番制等による体 談を実施する。	iするため、加古川 制を支援する。ま	医師会及び各医療機関等の た、小児を対象とする夜間	協力のも 帯の電話相
【コスト】		【会計】		
	平成28年度(決算見込)	会計	01一般会計	
事業費合計	18,282 千円	款	0 4 衛生費	
国庫支出金	千円	項	0 1 保健衛生費	
県 支 出 金	千円	目	01衛生総務費	
地方債	千円			
その他特財	162 千円	細目	0 1 5 救急医療事業	
訳 一般 財源	18,120 千円			
【コスト推移】				
	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算	平成26年度(決算)	
事業費合計	18,282 千円	26, 322	千円 26,224 千円	
【総合評価】				
	□拡充 □維持 □縮		↑ □廃止 □休止 □完了	
総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	救急医療事業は生命を 業を継続していくべき 利用率向上など、より	:守る重要な事業で であると考えるが 事業が充実するよ	あり、現行の水準を維持し 、一次救急の定点化や電話 う、手段等を検討する必要	ながら、事 相談事業の がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事	務	事業	き 名	救急医療事業	部	局	名	福祉部
4	477	<b>→</b> →	7.1		課	(室)	名	健康課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

# 【対象】

平成26年度
1 100 1 10

## 【事業実績】

<b>【</b> 尹	<b>亲</b> 夫爾	₹ 】						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活!	動 指	標						
分,	折 結	果						

成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
4	H +F7	<del>1</del> m										
放 5	果 指	<b>保</b>										

事務事業名	(公財) 東播臨海救急医療協会       部 局 名 福祉部         補助事業       課 (室) 名 健康課
【基本情報】	
基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして
政策	
施策	
事業実施期間	
	⑤市施策事業(経常)
地 区 別	その他
関連根拠法令等	
【事業概要】	
現 状 と 課 題	平成18年度から指定管理者制度を導入し、東播臨海救急医療協会を指定管理者とし、運営を委託している。
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	加古川夜間急病センターの健全な運営を支援し、夜間帯における救急医療体制の充実を図る。
対 象 ※誰、何に対して	加古川夜間急病センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び 播磨町)の住民
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	東播臨海地区の夜間帯における一次救急及び二次救急を円滑に行うため、加古 川夜間急病センターの管理及び運営に要する職員人件費を補助する。
【コスト】	【会計】
	平成28年度(決算見込) 会 計 12夜間急病医療事業特別会計
事業費合計	172, 268 千円 款 0 1 夜間急病医療事業費
国庫支出金	千円 項 01夜間急病医療事業費
県 支 出 金	千円 目 01夜間急病医療事業費
地方債	172, 202, 4 目 0 1 5 (公財) 東播臨海救急医療協会
その他特財	
**   一 般 財 源 【コスト推移】	千円
「コクト推移」	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算)
事業費合計	172, 268 千円 171, 304 千円 169, 028 千円
【総合評価】	112, 200 111
► 4500 H I I IIII	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
総 合 評 価 ※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	夜間帯における救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、加古川夜間 急病センターを管理、運営する上で必要となる職員人件費を補助することは、 行政が行う事業として妥当なものと考える。

 事務事業名
 (公財) 東播臨海救急医療協会
 部局名
 福祉部

 課(室)名
 健康課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

# 【対象】

対	象	指	標	名	単	位	平成28	年度	平成	27年度	平成26年	年度
美!	古川市、 町及び排 10/ 張人口)	番磨町	「の人	П		人	42	7, 921		429, 432	433	1, 152

# 【事業実績】

<b>【</b> 争 亲 夫 f	<b>浿</b> 】						
活 動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
東播臨海補助費	東播臨海救急医療協会 補助費				172, 268	171, 304	169, 028
活動指分析結		件費の	の自然	然増等に。	より増加傾向にも	<b>あ</b> る。	

## 【事業成果】

成果		名 単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標	値
夜間急病セ 日数	ンター診療	日	365	366	365	平成32 年度		365

成果指標分析結果

一年を通じて夜間急病センターの診療を実施できたことで夜間帯における救急医療体制を確保できた。

市 水 市 米 <i>(</i>	歯科保健センター	·管理運営事業	部 局 名	福祉部
事務事業名			課(室)名	健康課
【基本情報】				
基本目植	₹ 01安心して暮らせる	まちをめざして		
政 第	₹ 02健康づくりや地域	医療を充実する		
施 第	₹ 0 2 地域医療を充実す	`る		
事業実施期間	『平成7年度 ~ 永	年		
事業区分	⑤市施策事業(経常)			
地区別	一その他			
関連根拠法令等	加古川歯科保健センタ	一の設置及び管理	に関する第	<b>等例</b>
【事業概要】				
現状と課題	なる	しており、施設や何	備品の老杯	5化による修繕が増加傾向に
目 的			支援し、口	1腔衛生の向上と、休日及び
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	障がい者診療の充実を	凶る。		
対象	加古川歯科保健センタ播磨町)の住民	ーを利用する2市	2町(加さ	5川市、高砂市、稲美町及び
※誰、何に対して				
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	体目及び障がい者診療 歯科保健センターの管	を円滑に行っため、理及び運営に対す	、加古川僚 る業務委計	爾科保健協会に対し、加古川 Eを行う。
【コスト】		【会計】		
	平成28年度(決算見込)	会計	13歯科係	R健センター事業特別会計
事業費合詞	十 76,411 千円	款	0 1 歯科係	R健センター事業費
国庫支出会	千円	項	0 1 歯科係	R健センター事業費
県支出会	千円	目	0 1 歯科係	R健センター事業費
源 地 方 億	千円			d ter totals
と の 他 特 貝	76,411 千円	細目	U 1 0 歯科	4保健センター事業
一般 財 沙	千円			
【コスト推移】				
	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平	成26年度(決算)
事業費合詞	十 76,411 千円	87, 181	千円	76,068 千円
【総合評価】				
	□拡充 ■維持 □縮/	小 □改善 □統合	□廃止	□休止 □完了
総合評価				は、必要不可欠なものであ
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	り、加古川歯科保健セ 妥当なものと考える。	ンターを管埋、連	宮すること	:は、行政が行う事業として
(と円的) ひ/こ計画				

事務事業名 歯科保健センター管理運営事業 部局名福祉部 課(室)名 健康課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

# 【対象】

対	象	指	標	名	単	位	平成28年	度	平成:	27年度	平成26年月	复
美町 (1	川市、 及び指 0/コ 人口)	番磨町 かんりゅう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	の人	П		人	427,	921	2	129, 432	431, 1	52

# 【事業実績】

【事	業実績							
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
	斗保健さ 営費	マンタ	一管	理	千円	76, 411	87, 181	76, 068
Œ P	与具							
		平	成27	7年月	度は退職会	とによる増額があ	かったが、平成2	28年度は例年
活	動指析	票业	みりょ	里呂 1	費を支出し	ノて。		
分	析 結 爿	果						

## 【事業成果】

17/	以不】														
成	果 指	<b>f</b> 標	名	単	位	平成28年	年度	平成27年	<b>F</b> 度	平成2	6年度	目標年度	目	標	値
歯科保 診療日	·健セン 数	/ター(	木日		目		73		74		74	平成32 年度			73
歯科保い者診	と健セン ※療日数	/ター    女	章が		日		116		117		119	平成32 年度			116
		<b>仕口</b> 製				<b></b>						~~\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			

成果指標分析結果

休日診療、障がい者診療共に一年を通じて計画どおり実施できたことで地域における歯科診療体制を確保できた。

事務事業名	歯科保健センター事業特別会計部 局 名 福祉部繰出事業課 (室) 名 健康課
【基本情報】	
基 本 目 標	01安心して暮らせるまちをめざして
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施    策	02地域医療を充実する
事業実施期間	平成7年度 ~ 永年
事 業 区 分	⑤市施策事業(経常)
地 区 別	その他
関連根拠法令等	
【事業概要】	
現状と課題	繰出金に変動はあるものの、継続した支援を行っている。
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	加古川歯科保健センターの健全な運営を支援し、口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療の充実を図る。
対 象 ※誰、何に対して	加古川歯科保健センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び 播磨町)の住民
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療の充実を図るために設立した加古川 歯科保健センターの健全な運営に資するための加古川市負担分を特別会計に繰 り出す。
【コスト】	【会計】
	平成28年度(決算見込) 会 計 01一般会計
事業費合計	25, 288 千円 款 0 4 衛生費
国庫支出金	千円 項 01保健衛生費
県 支 出 金	
地方債	千円 
その他特財	一 1 0 2 5 保健衛生事業
一般財源	25, 288 千円
【コスト推移】	The first (Milder and California (Milder)
+ 110 + A =1	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算)
事業費合計	25, 288 千円 27, 739 千円 31, 538 千円
【総合評価】	□抗去 ■维性 □媒本 □新華 □弦△ □處正 □伊正 □ウフ
総 合 評 価 ※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 休日における救急医療体制や障がい者診療の支援は、必要不可欠なものであり、その財政基盤である歯科保健センター事業特別会計に負担し、安定した運営を維持することは、行政が行う事業として妥当なものと考える。

事	務	事	業	名		部	局 名	福祉部
7	4)/J	7'	~	~H	繰出事業	課	(室) 名	健康課

#### 【対象】

17.127	• 4					
対	象 指	標 名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
歯科( 特別会	保健センタ 会計歳出	7ー事業	千円	82, 712	99, 409	82, 789

# 【事業実績】

【爭弟	<b>E</b> 実績】							
活	動		標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
	保健セン会計繰り		一事業	É	千円	25, 288	27, 739	31, 538
<b>村加</b> :	云可深口	口並						
		歯科	1保健	セン	ンターの多	安定的な運営に智	寄与するために必	公要な繰出金を
活動	指標 標	支出	古した	-0				
分析	結 果							

## 【事業成果】

事未成人									
成果	指 標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標	値
歯科保健 診療日数	センター休	日	Ħ	73	74	74	平成32 年度		73
歯科保健 い者診療	センター障 日数	言が	目	116	117	119	平成32 年度		120
	/ <b>↓</b> .□.≫		立より、北京						

成果指標分析結果

休日診療、障がい者診療共に一年を通じて計画どおり実施できたことで地域における歯科診療体制を確保できた。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉 地方独立行政法人運営費負担金 部 局 名 福祉部 事務事業名 支出事業 課(室)名 健康課 【基本情報】 基 本 目 標 01安心して暮らせるまちをめざして 策 02健康づくりや地域医療を充実する 政 施 策 02地域医療を充実する 事業実施期間平成23年度 ~ 永年 ⑤市施策事業(経常) 事 分 業 区 地 区 别 その他 地方独立行政法人法第85条、地方公営企業繰出基準等 関連根拠法令等 【事業概要】 第2期中期計画(平成28年度~32年度)のもと運営費負担金を支出していく予定だが、今後、国の診療報酬改定による影響や、市民病院機構が地域医療を充実させるため実施する事業に対しても、柔軟に対応していく必要がある。 現状と課題 公的病院として救急医療や高度医療を安定的に提供する。 目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態にしたいのか 地方独立行政法人加古川市民病院機構 対 ※誰、何に対して 地方公営企業繰出基準に基づき、施設整備や救急医療等に係る不採算経費について運営費負担金を支出する。また、東西市民病院の財産の返還に伴う法人の 事 業 内 容 財産的基礎を確保するため、追加出資を行う。 ※目的達成のため の手段・手法 【コスト】 【会計】 平成28年度(決算見込) 会 計 01一般会計 款 0 4 衛生費 事業費合計 2,848,008 千円 国庫支出金 項 01保健衛生費 千円 財 01衛生総務費 県 支 出 千円 目 源 債 方 750,000 千円 地 内 005地方独立行政法人運営費負担金 細 その他特財 千円 支出事業 訳 源 般 財 2,098,008 千円 【コスト推移】 平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算) 事 業 費 1,122,276 千円 計 2,848,008 千円 1, 153, 333 千円 【総合評価】 □拡充 □維持 ■縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 口完了

事	務	事	業	名		部	局 名	福祉部
7	4),)	7'	$\wedge$	^µ	支出事業	課	(室) 名	健康課

#### 【対象】

対 象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
地方独立川市民病	行政法 院機構	5人加 舞	七	団体	1	1	1

## 【事業実績】

F 1	・ノベンベル	~ 1								
活	動	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	
運	営費負:	担金支	で出率		(	%	100	100	100	
出資	資金額				Ŧ	-円	1,000,000	0	0	
運算	営費負	担金支	工出額		Ŧ	-円	1, 848, 008	1, 153, 333	1, 122, 276	
法人の経営健全化を図り、公的病院として安定した医療を提供										

伝への経営陳王化を図り、公的病院として安定した医療を提供するため、法人に対し確実に支出した。なお、出資金については、東西市民病院の財産の返還に伴い法人の財産的基礎を確保する必要があったため、出資を行った。

## 【事業成果】

「事未以不」								
成果	指標	名 単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標	値
市民病院開次救急医療	院日数(2 施設)	日	365	366	365	平成28 年度		365
入院受入体 (高度医療	制確保日数 )		365	366	365	平成28 年度		365
医師数		人	190	170	147	平成28 年度		168
	TIO 体例	生ない ナルナ	7 字兴典 4 切 4	. 日本マケ 甘 6匹 7か 1口 /	カナムの川次人	N+11117 F	10 J+ L	D 4\D

成果指標分析結果

不採算経費等に対する運営費負担金と財務基盤確保のための出資金の支出により、法人の経営健全化が図られ、救急医療及び高度医療を安定的に提供できる体制が確保できている。

地方独立行政法人評価委員会運 部 局 名 福祉部 事務事業名 営事業 課 (室) 名 健康課 【基本情報】 基 本 目 標 01安心して暮らせるまちをめざして 策 02健康づくりや地域医療を充実する 政 施 策 02地域医療を充実する 事業実施期間 平成22年度 永年 ⑤市施策事業(経常) 事 分 業 区 地 区 别 その他 加古川市民病院機構評価委員会条例、地方独立行政法人法第11条 関連根拠法令等 【事業概要】 病院事業については、市が設立した法人に事業を担わせることで、より効果 的・効率的なサービスの提供を目指している。市は、法人への事前の関与や統 現状と 課題 制が制限されていることから、評価委員会を通して、中期目標等の達成や透明 性の高い法人運営を確保する必要がある。 地方独立行政法人法等で定められている地方独立行政法人加古川市民病院機構 的 目 評価委員会の所掌事務(業務実績評価など)について、委員会での審議を活性 化させ、様々な視点から適正に決定を行う。 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか 地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会 対 象 ※誰、何に対して 地方独立行政法人法第11条に基づき市長の附属機関として設置された評価委 員会の運営について、事務局として補助する。委員がより適正に客観的な決定 (評価)が行えるよう、審議する議案について十分な説明を行う。 事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法 【コスト】 【会計】 平成28年度(決算見込) 会 計 01一般会計 0 4 衛生費 事業費合計 634 千円 款 国庫支出金 01保健衛生費 千円 項 財 千円 01衛生総務費 県 支 出 金 目 源 債 方 千円 地 内 006地方独立行政法人評価委員会運 目 細 その他特財 千円 営事業 訳 源 般 財 634 千円 【コスト推移】 平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算) 事 業費 合 計 634 千円 719 千円 755 千円 【総合評価】 □拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 法定のため事業実施は必須であり、また、委員会開催の前に個々の委員へ事前 評 総 合 価 に資料の説明を行うことは、委員会での審議を活発にするうえで有効と考えら れる。平成28年度に評価要領等の見直しを行ったことから、しばらくは様子 ※妥当性·有効性 をみるべきと考える。 ・効率性の視点 をもとに総合的に判断した評価

地方独立行政法人評価委員会運 名 福祉部 部 局 事務事業名 営事業 名 健康課 課(室)

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

#### 【対象】

1/1/2/									
対 象	指	標	名	単	位	平成28年度	平成2	7年度	平成26年度
地方独立 川市民病 員会委員	祁浣機構	5人加 韓評価	古委	人	•	5		5	5

#### 【事業宝績】

活 動	指標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
評価委員会 明実施回数	委員への	説	口	20	24	33
評価委員会	開催回数		□	4	6	5
				1		- =V == -

活動指標分析結果

委員会の開催回数が計画時よりも少なかったため、委員への説明回 数合計は目標値を下回ったが、全回とも全委員へ事前説明は行って いる。

#### 【事業成果】

F /K/A/K		,		→ 8 t t .		- B - F - F			
成果	指標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 ;	標値
年度評価に 委員会意見	対する評 数	価	件	72	72	115	平成28 年度		60
年度評価に 委員会開催	対する評 回数	価	□	3	4	6	平成28 年度		3
	T-4 0 (								

平成28年度は、法人の業務実績に対して、事前に委員へ書面での意見を求めつつ審議を 成果指標 行ったので、多くの意見を引き出すことができた。一方、委員会開催回数の目標回数不達 は、暫定評価の実施方法をより効率的な方法へと見直した結果であり、審議内容としては従 前の方法と変わらない成果をあげることができたと考える。

事	務事業名		(一般会計)	部 局 名	<b>福祉</b> 部
,				課(室)名	健康課
[差	<b>基本情報</b> 】				
基	本 目 標	01安心して暮らせる	まちをめざして		
政	策	02健康づくりや地域	医療を充実する		
施	策	0 2 地域医療を充実す	る		
事	業実施期間	昭和39年度 ~ 永年	年		
事	業 区 分	⑤市施策事業(経常)			
地	区別	その他			
関	連根拠法令等				
Į	事業概要】	•			
現	状と課題	当番病院の交代はある	ものの365日体	制の運営を	·維持している。
	的 対象(誰・何)を どのような状態 こしたいのか	容態が悪くなった患者 の防止及び生命の維持(	の二次(後送)救 に繋げる。	急医療体制	を確保することで、重症化
対 <b>※</b> 記	象維、何に対して	二次(後送)救急措置(	の必要がある住民		
事 ※ [	業 内 容 目的達成のため の手段・手法	東播臨海地区の二次(後次教急医療の管理・運	後送)救急を円滑 営に対する支援を <sup>を</sup>	に行うため 行う。	の、関係医療機関に対し、二
[ =	コスト】	•	【会計】		
		平成28年度(決算見込)	会計	0 1 一般会	計
事	業費合計	33,712 千円	款	0 4 衛生費	;
財	国庫支出金	: 千円	項	0 1 保健衛	5生費
源	県 支 出 金	10,942 千円	目	01衛生総	務費
内	地方信		細 目	0 1 5 救急	医療事業
訳	一般財源		76		
[ =	コスト推移】				
		平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平,	成26年度(決算)
事	業費合計	33,712 千円		千円	千円
【糸	総合評価】				
		□拡充 ■維持 □縮月	□改善 □統合		□休止 □完了
総	合 評 価	二次救急医療体制の維持 政が行う事業として妥			り、支援を行うことは、行
Ž	妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 こ判断した評価	JAN IN JANCE OR CAS	→ .♥ 0.^> C!\/E.@(	U	

事	務	事	業	名	二次救急医療事業	(一般会計)	部	局	名	福祉部
7'	477	7'	*	<b>1</b> µ			課	(室)	名	健康課

## 【対象】

対 象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川市 1付住民 口)	人口 基本台	(10. 計帳人		人	268, 643		

#### 【事業実績】

【事業美績】						
活動	指標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
内科及び外間二次救急 関数			機関	12		
小児科二次 療機関数	救急当社	番医	機関	5		
活動指標分析結果	なった 救急に	ここと	で両指標の	市民病院、西市E の当番医療機関数 民病院合併時の記 寮センターに待め	数は増加した。た 灸療制限期間(2	えて小児二次

## 【事業成果】

成	果	指	標	名	単	位	平成28	8年度	平成2	7年度	平成	<b>対26年度</b>	目標年	度	目	標	値
内利置数	科及び 二次救	外科の	O休日 寮待機	昼日		日		72					平成3	12			72
小児機田	見科二 ∃数	次救急	急診療	待		日		365					平成3	2			365
		<b></b>	一击 击	고류	ウム	発味る	の診療制限	(月月日日)	ナシング	₩ <b>市採</b> 展	年 国 は /	の医療機	月月1ヶ7去松	1	市五 4	ナス	<b>〜</b> レ

成果指標分析結果

東西市民病院合併時の診療制限期間においても東播磨圏域の医療機関に待機依頼をすることで1年を通して二次(後送) 救急医療体制を確保できた。

事務事業名	二次救急医療事業(夜間急 療事業特別会計)		局 名     福祉部       (室) 名     健康課
【基本情報】			
基本目標	01安心して暮らせるまちをめざし	て	
政策	02健康づくりや地域医療を充実す	<sup>-</sup> る	
施    策	02地域医療を充実する		
事業実施期間	昭和55年度 ~ 永年		
事 業 区 分	⑤市施策事業(経常)		
地 区 別	その他		
関連根拠法令等			
【事業概要】			
現状と課題	当番病院の交代はあるものの368	5日の輪番	制を維持している。
目的	夜間帯における救急医療体制の充実	ミにより、	住民の重症化の防止及び生命の維
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	持を図る。		
1.1	2市2町(加古川市、高砂市、稲美	長町及び播	磨町)の住民
対 象 ※誰、何に対して			
事 業 内 容	東播臨海地区の夜間帯における二次 医療の管理・運営に対する費用の一	マ救急の診 一部を負担	療体制を確保するため、二次救急はする。
※目的達成のため の手段・手法			
【コスト】	【会計】		
	平成28年度(決算見込)	計 12	夜間急病医療事業特別会計
事業費合計	75,423 千円 款	0 1	夜間急病医療事業費
国庫支出金	千円 項	0 1	夜間急病医療事業費
原 支 出 金	千円	0 1	夜間急病医療事業費
地 方 債	千円	0.1	
その他特財	75,423 千円 細		UXIII心的区况书系
一般財源	千円		
【コスト推移】	证400万亩(海煙日)) 证407万亩	(油 答)	75-12-06 / (
事業費合計	平成28年度(決算見込) 平成27年度 75,423 千円	千円	平成26年度(決算)
	75, 425	117	千円
【総合評価】	□拡充 ■維持 □縮小 □改善	□統会 「	]廃止 □休止 □完了
総合評価	夜間帯における二次救急医療体制の 急医療の管理、運営を支援すること	充実は、	必要不可欠なものであり、二次救
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的	心	-10、11以	M コノサ木Cして女コなもいと有

二次救急医療事業(夜間急病医 部 局 名 福祉部 事務事業名 療事業特別会計) 課(室)名健康課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

# 【対象】

対	象	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
夜	間急病  計歳出	医療事	業特	別	千日	円	282, 566		
会計	計歳出								

## 【事業宝績】

【事未え	マル貝』						
活 動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
内科及 次救急	び外科 当番医	の夜間 療機関	二数	機関	12		
	-	平成 2 8 なった 3	8年 こと	7月に東京で当番医療	市民病院、西市民 療機関数は12様	民病院が合併し「 幾関としたが 7 月	中央市民病院に 引以降は10機

活動指標関で当番を実施した。

## 【事業成果】

		_															
成	果	指	標	名	単	位	平成28	年度	平成:	27年度	平川	成26年度	ř	目標年度	目	標	値
内积	科及びダ	<b>\</b> 科σ	)夜間	-		Ħ		365						平成32			365
次	科及びダ 枚急診療	· 持機	<b>後日数</b>	_				000						平成32 年度			000
	·		H . 3 . 33	<i>z</i> , .	- /4-1	414 F			E 441 3. 7.11	1-1-2-2		×/I /	((, ))	4) 4,7,5	<del> //-</del>	that it is	L / 🗆

1年を通して待機医療機関による輪番制を維持したことで二次(後送)救急医療体制を確保 できた。

事務事業名	夜間急病センター管	理運営事業	部 局 名 福祉部 課 (室) 名 健康課
【基本情報】			
基本目標	01安心して暮らせるます	ちをめざして	
政策	02健康づくりや地域医療	寮を充実する	
施    策	02地域医療を充実する		
事業実施期間	昭和55年度 ~ 永年		
事 業 区 分	⑤市施策事業 (経常)		
地 区 別	その他		
関連根拠法令等	加古川夜間急病センターの	の設置及び管理	に関する条例
【事業概要】			
現状と課題	本しし 医治さ系紀して)	理者制度を導入 いる。	.し、東播臨海救急医療協会を指定管理
目 的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	加古川夜間急病センターの の充実を図る。	の健全な運営を	支援し、夜間帯における救急医療体制
対 象 ※誰、何に対して	加古川夜間急病センターを 播磨町)の住民	を利用する2市	12町(加古川市、高砂市、稲美町及び
事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法	東播臨海地区の夜間帯にお協会に対し、加古川夜間が	おける一次救急 急病センターの	を円滑に行うため、東播臨海救急医療 管理及び運営に対する業務委託を行
【コスト】		【会計】	
	平成28年度(決算見込)	会計	12夜間急病医療事業特別会計
事業費合計	34,011 千円	款	0 1 夜間急病医療事業費
国庫支出金	千円	項	01夜間急病医療事業費
県 支 出 金	千円	目	0 1 夜間急病医療事業費
地方债	千円		
その他特財	34,011 千円	細目	010枚间芯州区原事来
一一般財源	千円		
【コスト推移】			
		平成27年度(決算)	
事業費合計	34,011 千円	108, 270	千円 115, 260 千円
【総合評価】			
			○ □廃止 □休止 □完了
総合評価			必要不可欠なものであり、加古川夜間 行政が行う事業として妥当なものと考
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	える。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	

事務事業名夜間急病センター管理運営事業部局名<br/>課(室)名電社部<br/>健康課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

# 【対象】

対	象	指	標	名	単	位	平成28年	度	平成:	27年度	平成26年月	复
美町 (1	川市、 及び指 0/コ 人口)	番磨町 かんりゅう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	の人	П		人	427,	921	2	129, 432	431, 1	52

#### 【事業実績】

【尹未天限】										
活動	指標	名 単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度					
夜間急病セ 運営費	ンター管理	千円	34, 011	108, 270	115, 260					
年度によって医薬材料費等の消耗が異なるため、年度間での変動が大きい。また、平成27年度以前は夜間二次救急診療業務も事業に分析結果										

【事業成果】

【事未以本】									
成果	指標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標	値
夜間急病セ 日数	ンター診療	· F	日	365	366	365	平成32 年度		365
	たまご	. 10 -	~ <del>**</del>		ニナ 中サー・ナナ	- 1. ~太明世)テル	VIL 7 46 E	古古井州	+ 11+

成果指標分析結果

一年を通じて夜間急病センターの診療を実施できたことで夜間帯における救急医療体制を確保できた。

事務事業名	夜間急病医療事業特別会計繰出 事業
【基本情報】	
基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	02地域医療を充実する
事業実施期間	昭和55年度 ~ 永年
事 業 区 分	⑤市施策事業(経常)
地 区 別	その他
関連根拠法令等	
【事業概要】	
現 状 と 課 題	繰出金に変動はあるものの、継続した支援を行っている。しかし、特別会計の 繰越金年度末残高は逓減している。
目 的 ※対象(誰・何)を	加古川夜間急病センターの健全な運営を支援し、夜間帯における救急医療体制 の充実を図る。
どのような状態にしたいのか	
対象	加古川夜間急病センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び 播磨町)の住民
※誰、何に対して	御윰町)の住民
然能、何に対して	
事 業 内 容	夜間帯における救急医療体制の充実を図るために設立した加古川夜間急病センターの健全な運営に資するための加古川市負担分を特別会計に繰り出す。
※目的達成のため の手段・手法	
【コスト】	【会計】
	平成28年度(決算見込) 会 計 0 1 一般会計
事業費合計	77,910 千円 款 0 4 衛生費
11 国庫支出金	·
財界支出金	千円 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
源地方債	千円 一
その他特財	千円 細 目 025保健衛生事業
一般 財源	77,910 千円
【コスト推移】	
	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算)
事業費合計	77,910 千円 75,994 千円 68,639 千円
【総合評価】	
	□拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了
総 合 評 価	夜間帯における救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、その財政基盤である夜間急病医療事業特別会計に負担し、安定した運営を維持することは、行政が行う事業として妥当なものと考える。
※妥当性・有効性 ・効率性の視点	は、行政が行う事業として妥当なものと考える。
をもとに総合的に判断した評価	
(年7)的 し/こ計1曲	

事	務	事	業	名		部	局 名	福祉部
7	4),)	7'	$\wedge$	^H	事業	課	(室) 名	健康課

#### 【対象】

1/1/2/							
対 象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
夜間急病 会計歳出	ҕ医療事 ⋮	<b>事業特別</b>	刊	千円	282, 566	279, 747	284, 417

#### 【重業宝績】

【事業》	<b>夫</b> 傾】						
活 動	力 指	標	名単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
夜間急会計繰	病医療事 出金	<b>季業特別</b>	打 千	円	77, 910	75, 994	68, 639
活動;	指標結果	越金をスを保	財源とし つため増	た決り	算が数年続いて ている。	ているため、単名	F度の収支バラ

成果	指標	名単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
夜間急病セ 日数	ンター診療	日		365	366	365	平成32 年度			365
口奴							平及			
	一年を通	じて夜間急	急症	房センターの診療	寮を実施できたこ	ことで夜間帯にお	おける救急	医療体	は制を	·確
成果指標分析結果	: 1株 じさ た。 :	)								

歯科保健センター施設整備事業 部 局 名 福祉部 事務事業名 課 (室) 名 健康課 【基本情報】 基 本 目 標 01安心して暮らせるまちをめざして 02健康づくりや地域医療を充実する 策 政 施 策 02地域医療を充実する 事業実施期間平成7年度 永年 事 分 ⑦投資事業 区 地 区 别 その他 加古川歯科保健センターの設置及び管理に関する条例 関連根拠法令等 【事業概要】 設立から20年が経過しており、施設や診療チェア等の高額な備品の老朽化に よる修繕が増加傾向にある。 現状と課題 加古川歯科保健センターの健全な運営を支援し、口腔衛生の向上と、休日及び 的 目 障がい者診療の充実を図る。 ※対象(誰・何)を どのような状態にしたいのか 加古川歯科保健センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び 対 播磨町)の住民 ※誰、何に対して 休日及び障がい者診療を円滑に行うため、加古川歯科保健センターの施設、設 備及び診療機器の整備を行う。 事 業 内 容 ※目的達成のため の手段・手法 【コスト】 【会計】 13歯科保健センター事業特別会計 平成28年度(決算見込) 計 会 01歯科保健センター事業費 事業費合計 17 千円 款 国庫支出金 01歯科保健センター事業費 千円 項 財 千円 01歯科保健センター事業費 県 支 出 金 目 源 債 方 千円 地 内 005歯科保健センター施設整備事業 細 その他特財 17 千円 訳 源 千円 般 財 【コスト推移】 平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算) 平成26年度(決算) 事 業 費 計 17 千円 5,945 千円 438 千円 合 【総合評価】 □拡充 ■維持 □縮小 □改善 □統合 □廃止 □休止 □完了 休日における救急医療体制や障がい者診療の支援は、必要不可欠なものであ 評 総 合 価 り、加古川歯科保健センターの設備や診療機器等の整備を行い、安心かつ安全 な診療環境を整えることは、行政が行う事業として妥当なものと考える。 ※妥当性·有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的に判断した評価

事務事業名 歯科保健センター施設整備事業 部局名 福祉部 課(室)名 健康課

<u>※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。</u>

#### 【対象】

対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
施記	<b>殳数</b>				施設	1	1	1

#### 【事業宝績】

	頁】						
活 動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
歯科保健 整備費	センタ	一施言	·卫	千円	17	48	438
活動指分析結	め	療機器、年度	景の E間で	更新につい での変動が	いては、整備計画 ぶ大きい傾向にあ	・ 国に基づき順次行 ある。	<sub>了っているた</sub>

# 【事業成果】

成 果 指	標 名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標	植
歯科保健センター 診療日数	一休日	田	73	74	74	平成32 年度		73
歯科保健センター い者診療日数	-障が	日	116	117	119	平成32 年度		116

成果指標分析結果

休日診療、障がい者診療共に一年を通じて計画どおり実施できたことで地域における歯科診療体制を確保できた。

	夜間急病センター	<b>佐</b>	部局名	福祉部
事務事業名		<b>旭</b> 改笠佣争未	課(室)名	total Lander
【基本情報】			队 (主) 石	WE AR IN
基本目標	01安心して暮らせる	まちをめざして		
政策				
	02世域医療を充実す			
	昭和55年度 ~ 永			
		<del>+-</del>		
事業区分	3 47 17 1 7/10			
地 区 別	その他	の乳型など笠田	ア明ナフタ	्रात्य । स्था
関連根拠法令等	加古川夜間急病センタ	一切故直及い官座	に関りる牙	₹17 <sup>1</sup> ]
【事業概要】				
現状と課題	<b>                                      </b>		設や備品の	)老朽化が著しく、頻繁な修
		一の健全な運営を	支援し、夜	
※対象(誰・何)を	の充実を図る。			
どのような状態にしたいのか				
対 象	加古川夜間急病センタ播磨町)の住民	ーを利用する2市	2町(加古	訂川市、高砂市、稲美町及び
※誰、何に対して				
然能、例に対して				
	事操船海州区の海問港	における一歩始刍	た田温にを	
事業内容	ンターの施設、設備及	び診療機器の整備	を行う。	
※目的達成のため				
の手段・手法				
【コスト】		【会計】		
	平成28年度(決算見込)		1 2 夜間急	息病医療事業特別会計
事業費合計	864 千円	款	0 1 夜間急	急病医療事業費
国庫支出金	千円	項	0 1 夜間急	急病医療事業費
財界支出金		目	0 1 夜間急	息病医療事業費
地 方 債	` ` ` `	Ħ		
その他特財		細 目	005夜間	引急病センター施設整備事業
一般 財源				
【コスト推移】				
	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平	成26年度(決算)
事業費合計	864 千円	173	千円	130 千円
【総合評価】				
	□拡充 ■維持 □縮/	」 □改善 □統合	□廃止	□休止 □完了
₩ Δ == /m	夜間帯における救急医	療体制の充実は、	必要不可欠	てなものであり、加古川夜間
総合評価	急病センターの設備や	診療機器等の整備	を行い、劣かものしき	えんかつ安全な診療環境を整 きえる。
※妥当性・有効性 ・効率性の視点	へるここは、11以が11	ノザ水に しく女ヨ	なひひこそ	J / L ′ IJ 0
をもとに総合的 に判断した評価				

重	務	車	丵	夕	夜間急病センター施設圏	と備事業 📗	部	局	名	福祉部
₹'	1)7	7,	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	~µ			課	(室)	名	健康課

# 【対象】

対	象	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
施記	设数				施設	1	1	1

## 【重業宝績】

	<b>羊</b> 美領	<u>1                                    </u>						
活	動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
夜間整備	間急病セ 帯費	アンタ	一施	設	千円	864	173	130
活分	動 指 析	る		景の)	入れ替え気	・ 等により、年度間	・ 間での変動が大き	さい傾向にあ

成果	指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	票 値
夜間急病セ 日数	ンター診療	日	365	366	365	平成32 年度		365
成果指標分析結果	一年を通じ 保できた。	て夜間急症	<b> </b> 病センターの診療	 寮を実施できたこ	 ことで夜間帯にお	<u> </u> おける救急	医療体制	制を確

事務事業名	新巾氏病院父囲アクセス允美事	部局名都巾計画部
	業	課(室)名 交通政策課
【基本情報】		
基本目標	01安心して暮らせるまちをめざして	
政策	02健康づくりや地域医療を充実する	
施策	02地域医療を充実する	
事業実施期間	平成28年度 ~ 平成28年度	
事業区分	( I a I I a before the a MIX ( perform I a )	
地区別	市内全域	
関連根拠法令等		
【事業概要】		
[ 尹术院女]	かこバス東加古川ルートを増便すること	で対応できている
現状と課題		
目 的	加古川東市民病院跡地から加古川中央市	民病院への交通アクセスの充実
※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか		
	加古川東市民病院跡地周辺の住民	
対 象		
※誰、何に対して		
	かこバス東加古川ルートの増便	
事 業 内 容		
※目的達成のため		
の手段・手法		
【コスト】	【会計】	
	平成28年度(決算見込) 会 計	01一般会計
事業費合計	4,707 千円 款	08土木費
国庫支出金	千円 項	0 5都市計画費
県支出金	千円	0 1 都市計画総務費
地 方 債	千円	
内その他特財	千円 細 目	0 6 5 総合交通政策事業(政策企画 課)
一般 財源		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
【コスト推移】		
	平成28年度(決算見込) 平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	4,707 千円	千円    千円
【総合評価】		
	□拡充 □維持 □縮小 □改善 □統合	> □廃止 □休止 ■完了
総合評価	同事業は、平成29年度より公共交通補	助事業に統合。
※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価		

事	務	事	業	名		部	局 名	都市計画部
7	4),)	7'	$\wedge$	^H	業	課	(室) 名	交通政策課

## 【対象】

対	象	指	標	名	単	位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
かこルー	- バス -ト)	(東力 沿線自	古川 E民		人	•	20, 001		

# 【事業実績】

【事業実績】										
活 動	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度			
かこバンルート)				便	64					
かこバンルート)				口	19, 278					
1日の便数を14便増やした結果、年間の運行回数が平成27年度 と比較して約2,500回増加した。 活動指標分析結果										

成	果	指	標	名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目	標	値
かこ	バス ( ト) 利	東加古田老米	別		人	270, 674			平成28 年度		270,	000
	いり 不り	用有多	X						十段			
Ь Ш	年間の利用者数が平成27年度と比較して約20,000人増加していることから、交通ア										百ア	
成 果 指 標 クセスの充実が図れたと考えられる。 分 析 結 果												